

小学校算数

◇…比較的できている点

◆…課題のある点

問題作成の趣旨

学習指導要領で育成を目指す資質・能力を踏まえ、「事象を数理的に捉え、算数の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決する過程を遂行する」という数学的活動を行う文脈を重視した。

結果概要

◇データの読み取りが丁寧にできている。

◆グラフが表すデータを言葉と数を使って表現することに課題がある。

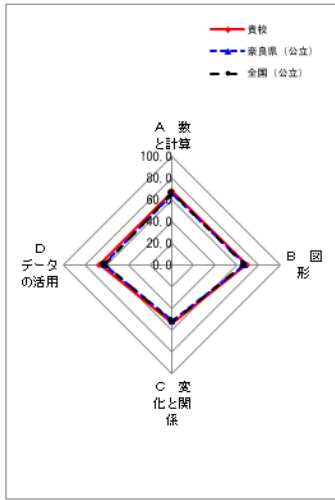
<分類・区分別集計結果>

集計結果

対象児童数		王寺町立王寺南義務教育学校	奈良県（公立）	全国（公立）
		136	9,906	947,579

分類	区分	対象問題数 （問）	平均正答率（％）		
			貴校	奈良県（公立）	全国（公立）
全体		16	86	83	83.4
学習指導要領の領域	A 数と計算	6	87.5	85.4	86.0
	B 図形	4	88.8	86.7	86.3
	C 測定	0			
	C 変化と関係	3	53.2	51.2	51.7
	D データの活用	4	66.4	62.4	61.8
評価の観点	知識・技能	9	77.9	73.2	72.8
	思考・判断・表現	7	50.4	50.7	51.4
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	5	79.3	75.7	75.3
	短答式	7	65.8	61.8	62.0
	記述式	4	49.3	50.6	51.0

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



学習指導要領の領域・内容別の主な特徴と指導改善のポイント

データの活用

◇データを読み取ることはできている。

具体的な設問例
(大問5 (3))

折れ線グラフから、開花日の月について、3月の回数と4月の回数の違いが最も大きい年代を読み取り、その年代について3月の回数と4月の回数の違いを書く。

(3) こうたさんは、1970年代から2010年代について、C市の桜の開花日の月を調べました。すると、1970年代以降は、開花日の月が3月と4月のどちらかであることがわかりました。

そこで、開花日の月について、各年代の3月の回数と4月の回数を、下のよう折れ線グラフに表しました。

こうたさんたちは、左の折れ線グラフをもとに、気づいたことについて話し合っています。

こうた 1970年代は、3月の回数より4月の回数のほうが4回多いですね。

ひなの 3月の回数と4月の回数が同じ年代がありますね。

しおり 3月の回数と4月の回数のちがいが大きい年代がありますね。

左の折れ線グラフで、3月の回数と4月の回数のちがいが最も大きい年代はいつですか。また、その年代について、3月の回数と4月の回数のちがいは何回ですか。

ちがいが最も大きい年代と、その年代について、3月の回数と4月の回数が何回ちがうかを、言葉と数を使って書きましょう。

正答率：46.3%

指導改善のポイント

データの読み取りはできているが、その特徴や傾向を説明することに課題がある。グラフの特徴や傾向を捉えたり、考察したりしたことを、グラフのどの部分からそのように考えたのかを明らかにして、他者に分かるように伝えることができるように指導する。グラフが表すデータを言葉と数を使って表現する力を着実に身につけさせられるよう、発達の段階に応じて自分の考えを表現する（書く・話す）機会を増やしていく。

変化と関係

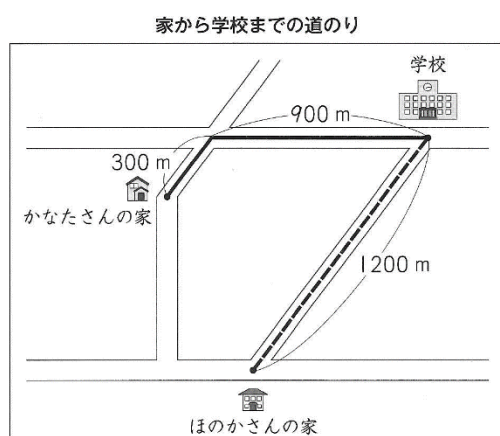
◆どちらが速いかを判断できても、数や言葉での理由記述が不十分な児童が多い。

具体的な設問例 (大問4(3))

家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く。

(3) かなたさんとほのかさんは、それぞれの家から学校まで歩いて行きました。

正答率：28.7%



家から学校まで、かなたさんは20分間、ほのかさんは24分間かかりました。

それぞれの家から学校までの歩く速さを比べると、かなたさんとほのかさんのどちらが速いですか。

下の **1** と **2** から選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

1 かなたさん

2 ほのかさん

家から学校までの道のりは、上の図のとおりです。

指導改善のポイント

日々の授業の中で、児童の発言に対して「どうしてそう思ったの？」など、導き出した答えに対して、なぜそのようになるのかを考えられるような問い返しや補助発問を積極的に行っていく。